



ふくせんレポート

2022
7/31

第12号

1・2・3面	令和4年度定時社員総会
4・5面	第3回福祉用具専門相談員研究大会
6・7面	知識PLUS 熱中症予防と感染予防を両立するマスク着脱のポイントとは
8・9面	住宅改修事例 玄関アプローチのバリアフリー工事
10面	バリアフリー2022



新型コロナウイルス感染防止対策を行い、開催

令和4年度定時社員総会(6/17 in東京)

コロナ禍の影響を受けつつも意欲と工夫で邁進 福祉用具業界の様々な課題に取り組みながら より一層の資質の向上・専門性の追求を

去る6月17日(金)、本会は、令和4年度定時社員総会を開催した。前日には、「第3回福祉用具専門相談員研究大会」を盛会裡に終えたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止への対策が重要視される状況は変わらず、令和3年度に続き、会員、関係各位の健康と安全を考慮したプログラムとなった。来賓招待や記念講演会を行わず、所要時間を短縮して行った。

開会に当たり岩元理事長は、「コロナの影響を受けて開催される社員総会も3回目。今年こそは、たくさんの皆様に会場に集まっていたで行いたいと念じていたが、なかなかその様にはいかず残念。いくらか感染状況も落ち着き、社会経済活動も動き始めてはいるが、介護分野に従事する職能団体の総会として、当然、感染防止対策を最優先とさせていただいていることをご理解いただきたい」と語った。

■通常の活動が難しい中でも様々な活動に注力

岩元氏は、令和3年度の活動状況については、令和2年度に続き、本部、各ブロックともに新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く残った



岩元 文雄 氏
(いわたと ふみお)
本会理事長

活動内容となったとしながらも、その中身はバラエティに富んだものであったと振り返った。「本部・各ブロックが主催した研修や勉強会では、令和3年の介護保険制度改正に関する講演や、LIFE、介護現場における生産性の向上、リスクマネジメント、福祉住環境整備などまで多様なテーマについて、取り組み、実績をあげた。これには、オンラインの利便性が大きく貢献しており、取り組みを進めてきた研修方式が軌道に乗った結果だと言える。また、本会が普及推進を進めている更新研修についても、オンライン化の目処が立った。このように、受講機会の公平性を担保する環境が整ってきた現状も、コロナによる様々な規制の中